

○ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 ( . . . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ( )	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	健康福祉部 保健・疾病対策課
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	12 骨髄等移植ドナーに係る支援制度の創設及びドナー登録等の推進について		
提案市	諏訪市		
提案要旨	<p>骨髄等移植ドナーの休暇取得を支援するため、県が主体となりドナーと事業所等への支援制度の創設と、あわせてドナー登録の推進及び骨髄等提供体制の促進を図るよう要望する。</p>		
提案理由	<p>白血病等の難治性血液疾患に有効な治療法である骨髄・末梢血管細胞（以下「骨髄等」という。）移植は、ボランティアであるドナーの善意によって支えられている。</p> <p>骨髄等の提供には検査等のために1週間程度の入通院が必要となるが、休暇制度のない企業等に勤めるドナーや職場の理解がない場合には提供が難しくなるため、提供体制を支援する施策が必要である。</p> <p>また、長野県は登録者の割合が都道府県の中で最も低いため、登録者を増やす対策が求められている。</p>		
現況及び課題等	<p>現在、日本骨髄バンクにドナー登録している人は、全国で約48万人を超え、移植を待つ患者の95%は適合するドナーが見つかる状況ではあるが、実際に移植に至るケースは、患者の6割程度にとどまっている。</p> <p>適合するドナーであっても、仕事を休むことへの気兼ねや企業等の負担、骨髄等採取への不安などが原因となり、移植に至らないケースがある。</p> <p>長野県では、平成27年度から登録会の開催を増やすなどしてドナー登録者が増えてきているが、対象人口当たりの登録者数は全国最下位（4.67人/千人）である。</p> <p>当市では、ドナー登録者の拡大と骨髄等の提供率向上のため、ドナーと企業等への支援制度の実施を検討しているが、県的な取り組みが必要であると考える。</p>		
関係法令	<p>移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律（平成24年法律第90号）</p>		